

3. 郡山の未来への願いを表してみよう

では、わたしたちの「ふるさと郡山」は、どのように変わっていったらよいのでしょうか。みなさんと同じ小学生のお友達がどのような願いを持っているのか見てみましょう。

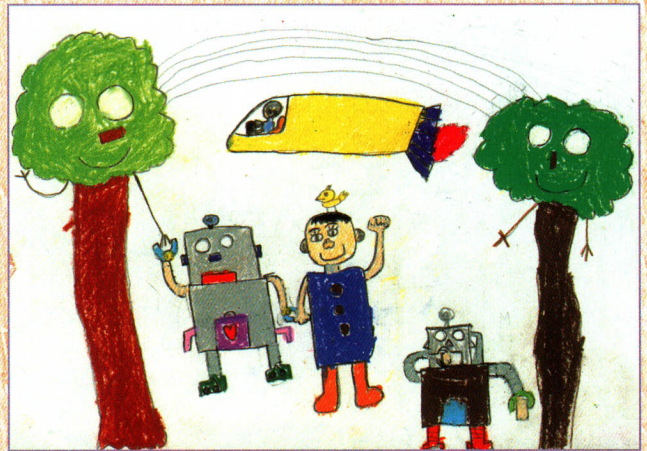


わたしは、人と車がぶつからない町にしたいと思いました。人と車は、やつになつていて、ヤルトコンペターで道路が動くようになつていきます。そうすれば、車もプリンなして走れるし、車と人がぶつからたりしないんじゃないかと思ひました。

4年生児童作品

4年生児童作品

ぼくは、ロボットや木が人間がいらして、くらし緑がいっぱいある町に、すんでみたい。ロボットが町のごみを拾、アリサイクルをしてくれます。会社に行くときは、自家用ロボットで通きんできたらうがい。そのロボットは、太陽エネルギーで飛ぶから空気をぶくしません。



4年生児童作品

今の郡山の町は、車などがたくさんきてべんりだけれど、こうこうじなどか多いから、未来になつたら、空飛ぶ自転車や、空飛ぶいすかできてみるべくじこをなくすようにしたいです。また、車のうしろからでる排気ガスもなくして、郡山の未来には、空気がきれいなじこのない町になつてほしいからおきました。

